2021年（令和3年）1月18日 月曜日 第762号（毎週1回発行）

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2021年（令和3年）1月18日 月曜日

編集・発行所 株式会社アミューズメント プレス ジャパン 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F TEL.03-5447-0555 https://www.amusement-japan.co.jp

週刊アミューズメントジャパンは
月曜日Webアップ！
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン 検索

Weekly Amusement Japan
©2021 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

年末・年始のホール営業
前年比20%超のダウン
新型コロナ 影響が如実に

パチンコホールの年末・年始営業はコロナ禍の世相を反映し、前年と比べて大きく落ち込んだ。これまで業績をけん引してきたパチスロは、高射幸性機撤去の影響もあり、稼働・粗利ともに大幅ダウン。一方、4円パチンコは健闘した。DK-SISデータをもとに今回の年末・年始営業を振り返った。

本紙では、年末・年始やゴールデンウィークといった大型連休期間のホールの業績を、毎年定点観測してきた。前回の年末・年始営業は前年同期比で稼働や売上の下落傾向に歯止めがかかった。

だが、今回の年末・年始営業は新型コロナウイルス第3波の影響、さらにパチスロの業績を支えてきた『ミリオンゴッド～神々の凱旋～』の撤去などもあり、業績は厳しい結果となった。また、北陸などでは大雪の影響で人の出が悪かったなど、天候によるマイナス影響もあったようだ。

DK-SISデータによると、全店の業績は稼働時間、粗利が20%を超える大幅下落となった。パチンコ、パチスロのアウトはそれぞれ前年比でマイナス26%、マイナス22%。粗利はマイナス21%、マイナス22%とどちらも20%超える大幅な下落。DK-SIS室の片瀬宏之室長は次のように分析する。

「パチンコは遊技料金1円以下（0・5円など含む）の業績悪化が足を引っ張ったが、4円パチンコのアウトの前年比は20円パチスロとほぼ同じで、売上と粗利に関しては前年比の下落率が20円パチスロよりも低く、実績も20円パチスロを上回り種別の中での好調さが数字に表れた」

昨年まではパチンコの不調をパチスロがカバーする構図が続いてきたが、今回は逆の構図となった。ホール関係者に話を聞くと次のような声が上がった。

「12月からコロナ感染者が増え、前回の緊急事態宣言後に徐々に戻ってきてくれていたお客様が再度遊技を控える傾向がみられた。年末・年始営業中も、これまで、高齢者の遊技人数が多かったパチンコのメイン機やパチスロAタイプの稼働が伸びなかった」（埼玉・店長）

「コロナによる客数ダウンを補うために、正直、粗利を取りに行くような営業内容にしてしまっている。それによって客数だけでなく客滞率も下がっている。負のスパイラルに陥ってしまっているが止められない」（東京・営業部長）

DK-SISデータで機種別の稼働をみても、4円パチンコでは台数シェアの高い機種の多くが低迷。片瀬室長も「年配向け機種の苦戦が大きく業績に影響を及ぼした。緊急事態宣言も発令され、年配向けの機種は厳しい状況が続くだろう」と予想する。

20円パチスロは台数シェア上位の『沖ドキ！』シリーズや『押忍！番長3』が貢献したものの『ミリオンゴッド～神々の凱旋～』をはじめとした高射幸性機の穴埋めはできていない。

高射幸性機が撤去され、6号機のシェアは約36%となったがアウトや粗利の前年比がともにマイナス35%と大幅に下落するなど、先行きが苦しい状況を示す結果となってしまった。ホール関係者からも、今後に対してネガティブな声が聞かれた。

「前回の緊急事態宣言に伴う休業によって業績が大きく悪化したが、さらに追い打ちをかけるような状況。新規則機への入替えも考えると、この状況が続く限り、コスト負担に耐えられるかが不安」（愛知・部長）

「昨年はとにかく我慢の時期だと思って耐えてきたが、先行きに明るい材料が見えない。ホールを閉店することも現実的に考えていかなくてはならない」（東京・経営者）

そうした中、片瀬氏はパチンコの管理に力を入れるべきと提言する。

「昨年の4円パチンコにおける玉粗利は、年始後の火曜～金曜（1／7～1／10）で0・22円だった。今年は年始後の火曜～金曜（1／5～1／8）で0・28円と3連休明けまで年末年始営業並みの活用で粗利の補填を行う動きが見て取れる。2021年は4円パチンコのファンを手放すか、それとも取り込めるかで大きく差が出る年だと思う。4円パチンコのファンを取り込めて良かったと言える1年になるように願っている」

年末・年始データ
資料提供：DK-SIS

全店		稼働時間	対前年差	粗利	対前年差	時間粗利	対前年差
2017年	12/29～1/4	4.80H	−0.13h	4,420円	−270円	920円	−30円
2018年	12/29～1/4	4.67H	−0.13h	4,220円	−200円	900円	−20円
2019年	12/29～1/4	4.66H	−0.01h	4,240円	+20円	910円	+10円
2020年	12/29～1/4	4.55H	−0.11h	4,200円	−40円	920円	+10円
2021年	12/29～1/4	3.44H	−1.11h	3,300円	−900円	960円	+40円

種別	年	アウト	売上	粗利	時間粗利
パチンコ	2021年	14,800個	15,300円	3,030円	1,020円
	2020年	19,900個	18,300円	3,820円	950円
	前年比	74.4%	83.6%	79.3%	107.4%
4円パチンコ	2021年	13,400個	22,400円	4,250円	1,570円
	2020年	17,400個	26,500円	5,300円	1,510円
	前年比	77.0%	84.5%	80.2%	104.0%
1円パチンコ	2021年	17,200個	6,000円	1,430円	420円
	2020年	24,000個	7,800円	1,950円	400円
	前年比	71.7%	76.9%	73.3%	105.0%

種別	年	アウト	売上	粗利	時間粗利
パチスロ	2021年	8,300枚	19,100円	3,720円	890円
	2020年	10,700枚	25,500円	4,790円	880円
	前年比	77.6%	74.9%	77.7%	101.1%
20円パチスロ	2021年	8,300枚	21,700円	4,210円	1,000円
	2020年	10,700枚	29,100円	5,410円	1,000円
	前年比	77.6%	74.6%	77.8%	100.0%
5円パチスロ	2021年	7,900枚	5,500円	1,150円	290円
	2020年	11,000枚	7,600円	1,620円	290円
	前年比	71.8%	72.4%	71.0%	100.0%

※年始年末期間は全て12月29日～1月4日までの7日間

1都3県に緊急事態宣言
ホールには協力「呼びかけ」

政府は7日、新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言を東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県に発出した。特措法に基づき営業時間の短縮を要請する対象を飲食店やカラオケ店に絞る一方で、パチンコホールやゲームセンター、劇場、映画館、運動施設などは午後8時までの時短営業への協力の呼びかけにとどめた。

緊急事態宣言の再発令を受けて東京都遊協は同日、組合員に「緊急事態宣言の発令について」とした文書を発出した。

文書では「本呼びかけは法令に基づく要請ではないが、政府からの呼びかけであり、社会の一員として真摯に耳を傾けていただき、各社、誠意ある対応をお願いしたい」と要望し、「パチンコ・パチスロ店営業における新型コロナウイルス感染症の拡大予防ガイドライン」の徹底、各種告知広告宣伝の禁止、午後8時以降のネオン、看板照明の消灯の3点の遵守を呼びかけた。

神奈川県遊協、千葉県遊協、埼玉県遊協も組合員に対してそれぞれガイドラインの遵守や屋外ネオンの消灯などを文書で呼びかけた。

大牟田市に78万円寄付
夢コーポレーション

「夢屋」の屋号で全国にホール33店舗を運営している夢コーポレーションは12月8日、昨年7月の豪雨で激甚災害に指定された福岡県大牟田市に復興支援として78万3149円を寄付した。

寄付金は昨年7月23日から8月31日の期間に来店客から集まった募玉・募メダル相当額71万2662円、来店客及び従業員から集まった現金寄付額7万487円の総額。同日に市役所で行われた目録贈呈式で、加藤英則代表が関好孝市長に目録を手渡した。

加藤代表（右）

障がい者支援活動
プローバグループ

広島県を中心にホール21店舗を運営するプローバグループ（広島市）は12月21日、きょうされん広島支部に寄付金10万円と車いす1台を寄贈した。

同社では毎年、作業所で働いている障がいを持つ人々を同社が運営するアミューズメント施設に招き、「遊び」の体験やスタッフとの交流を通じて、自立のための支援活動を行ってきた。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、イベントを中止。同社は「少しでもお役立ちできることはないか」と今回の寄付を決めた。

きょうされん広島支部の松田副支部長（右）と同社の越智由臣部長

地域振興へ助成事業20件
太陽財団

北海道でホールを運営する太陽グループの関連法人、公益財団法人太陽財団（札幌市）は12月22日、令和3年度の助成対象事業20件を決定した。助成金額は1406万1000円。

北海道の自然や歴史などの自然保全や文化・スポーツ振興などを通じた地域づくりが目的で、助成事業は今回で21回目。これまでの助成総件数は398件、総額は約2億8500万円に上る。

助成対象事業贈呈式は2月下旬に札幌市内で開催予定。

動画制作を支援
マルハン

マルハンは特定非営利活動法人ジャパンハートの動画制作費用を支援。12月24日からYouTubeで「わたしたちが大切にしていること－心を救う医療－」が公開されている。

同法人は「医療の届かないところに医療を届ける」ことをミッションに掲げ、日本国内外で医療、教育、福祉、災害支援等、幅広く活動を続ける国際医療NGOだ。

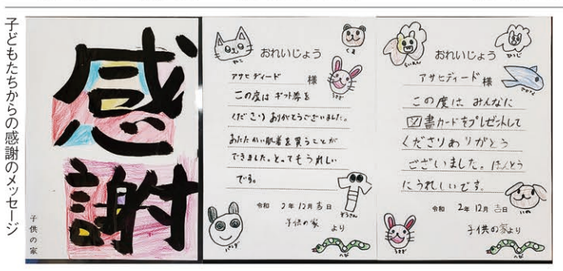
動画はジャパンハートによって心が救われたと語る患者やその家族、医療活動に携わる医療者の言葉を交えながら、「心を救う医療」の意義や大切さを伝える内容になっている。約10分のロングバージョンと約2分のショートバージョンを公開している。

同法人最高顧問の吉岡秀人氏（左）から感謝状を受け取る韓裕社長

児童にプレゼント寄贈
アサヒディード クリスマスに

アサヒディード（大阪市）は12月23日、児童養護施設、慶徳会子供の家」（茨木市）の子どもたち52人にクリスマスプレゼントとして図書カードとQUOカード8万2千円相当分を寄贈した。

例年はクリスマスに開催される同施設のイベントにアサヒディード社員が訪問し、子どもたちによる舞台発表を観た後に歓談タイムをともに過ごしていたが、今回は新型コロナウイルス感染防止の観点からプレゼントの寄贈のみとした。同社には児童や職員たちからの感謝のメッセージが届いた。



子どもたちからの感謝のメッセージ

今週の紙面から

ニューパル28周年
記念プロモーション続々
山佐グループ 2面

5Gで期待される変化
識者が予想するゲームとパチンコの近未来 3面

ファンに寄り添ったスピードタイプ
『PDD北斗の拳2 ついでに愛を取り戻せ!! ～ケンシロウ319Ver.～』 高尾 2面

サウンドトラック配信
パイオニア 2面

特集 深化する依存問題対策
変わりゆく「依存」の中身 6面

TAKAO 4面

YAMASA GROUP 5面

今、ファンが行きたいホール
大規模アンケートから読み解く

1 ホール内原則禁煙の影響
2 新型コロナウイルスの影響
3 遊タイムの認知度
4 ホール選びの新基準
5 感染症対策の評価

本誌×P-WORLD 共同アンケート分析

ENTERTAINMENT
ところざわサクラタウン
KADOKAWAと所沢市の共同プロジェクト

SPECIAL FEATURE Ⅱ
アキ活時代の消費スタイル
JOBがレジャーのライバルに!?
副業を始めてレジャー時間が減った
経験や趣味を副業に変えるCtoCサービス

SPECIAL FEATURE Ⅲ
深化する依存問題対策
ギャンブル等依存症対策の整理
遊技客を見守り、異変に気付く
変わりゆく「依存」の中身
エルゴジャパン『スモーククリア』
SANKYO『フューチャーエボリューション』

PRODUCT REPORT
プロモーション効果を最大限に
ザック・ストラテジー『ストラトス』
システムでモチベーションを高める
パチンコ業界特化型モチベーション管理システム『P-MOTIVATION』
コロナ禍にも強い福祉ビジネスクレド『リゾートアロハ』

FOCUS
MEGAFACE880 博多本店

DESIGN WORKS

PACHINKO・PACHISLOT・AMUSEMENT 経営者の必読誌
Amusement Japan
月刊 アミューズメントジャパン 2021 2

定期購読のお申し込みはお電話またはメールで TEL.03-5447-0555 mail info@amusement-japan.co.jp

▼▼▼ 遊びをクリエイトするプランナーの視点 ▲▲▲

新 集客の素
連載・第82回

市場変化の捉え方

池澤守企画 代表取締役 池澤 守

今、リアルビジネスを取り巻く環境は、目まぐるしく変わり続けています。この激動の時代を生き抜くには、変化に素早く対応するためのマーケティングが不可欠になるのです。

売れる仕組みをつくるためのマーケティングの基本は、①誰に（ターゲット）、②何を（商品・サービス）、③どのように（販売手法）売るのかという3つのポイントです。中でも、市場が大きく変化する今の時代は、「誰に」売るのかという顧客戦略が要です。「現顧客はどういう方々か？」「流出顧客はどこに流れたのか？」「新規の見込み客は誰か？」といった顧客の把握が必要です。

顧客という「誰に」が定まらなければ、「何を」「どのように」提供すれば良いのかも定めることができません。顧客の把握にはどのような方法があるのでしょうか。

1996年、ゲーム会社のナムコに勤めていた私は、東京・池袋に、ビルインテーマパーク「ナムコ・ナンジャタウン」を開設しました。満を持してオープンさせた施設でしたが、新概念の遊びを満載したパークには「何が何だか分からない」という戸惑いの声が続出しました。参加型アトラクションや通路を遊び場化した街巡りアトラクションの遊び方が分からないというのです。ターゲットに据えた顧客層と参加型娯楽との親和性を読み違えた失策でした。

私は、日々寄せられる来園客の苦情に対応しながらも、より抜本的な対策が必要だと考え、初めての方限定で1000組のモニターを募集しました。この方々から寄せられた大量のレポートには、初来園者がどう遊び、何につまずいたかが克明に記されていました。この貴重な情報を分析することで、的確な改善が可能となりました。

また、来園客の出口アンケート調査を毎月1回行うようにしました。顧客属性や滞留時間、来園回数などの基本データの他、来園動機や不満点などの把握に役立てました。最大の来園フックはパブリシティでした。新しい遊びの投入と話題作りの成否が集客人数を左右したのです。

2000年を前後して、年間120万人を集めていたナンジャタウンの集客に陰りが見え始めました。遊園地やテーマパークの閉園が相次いだ時期でもあり、乗物やアトラクションで遊ぶパーク業態が飽きられ始めたと認めざるを得ませんでした。

何がどう変化しようとしているのか。来園客を調べても無駄でした。その理由が、パークを離れた人々の心の中にあるからです。流出顧客の心を捉えた新たなライバルは、この時期に大きな変容を遂げた施設や新登場した余暇コンテンツです。新ライバルは、無料で楽しめるレジャー施設化戦略を打ち出した大型商業施設と、99年の「i-モード」登場を機に始まった娯楽端末化したケータイでした。

奪われた顧客を取り戻すには、ナンジャタウンに来なければ味わえない魅力的な何かが必要でした。その切り札に選んだのが「池袋餃子スタジアム」のパーク内開設です。集客数は年間200万人に跳ね上がりました。

顧客や市場の変化を捉える手法は様々ですが、「誰に」を分析しなければ的確な対応はできません。パチンコホールも同様です。まずは顧客を知るための第一歩を踏み出しましょう。

いけざわ・まもる
（株）池澤守企画代表取締役/テーマパークプロデューサー。1979年ナムコ入社。都市型テーマパーク「ナムコ・ワンダーエッグ」「ナムコ・ナンジャタウン」、フードテーマパーク「横濱カレーミュージアム」等、数々の話題施設を成功させてきた。2015年に独立し企画会社を設立。オンリーワン型テーマ空間の企画、プロデュース、コンサルティングを手掛けている。

高尾／PDD北斗の拳2 ～ケンシロウ319Ver.～ ついでに愛をとりもどせ!!
ファンに寄り添ったスピードタイプ

原作漫画である『DD北斗の拳』のDDは、「Design Deformation」の略。ケンシロウをはじめとする登場人物は、ギャグ漫画にふさわしい二頭身のデフォルメキャラだ。ところが、『PDD北斗の拳2』は、こうしたユルめのキャラからは想像もできない極めて骨太な出玉性能を備えている。ハイミドルV・STタイプでST中はP機最速の出玉スピード。さらにRUSH突入後に、「打ち手のテンションを下げない工夫」を随所に凝らしている。

高尾のパチンコ学園黙示録ハイスクール・オブ・ザ・デッド2 弾丸319Ver.』や三洋物産の『P大工の源さん 超韋駄天』など、出玉が速い"スピードタイプ"のハイミドル新規則機は、最近一つの人気カテゴリーとして定着しつつある。投資面で極端に大きなリスクを負うことなく、仕事帰りの短時間勝負でもヒキ次第で夢が追える。こうした特徴が、多くのファンに支持されている理由の一つなのだろう。

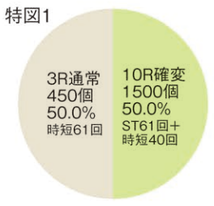
『PDD北斗の拳2』は、初当たりの50%で確変大当たりに突入。そのすべてが1500個の払い出しだ。加えて時短引き戻しを含むST継続率が約85%と高い。せっかくRUSHに突入したのに少ないラウンドに偏って出玉が一箱にも満たずガッカリということがない。RUSH突入時のTYは約6600個と昨年導入された幾多のミドルV・STの中でもトップクラスだ。

61回のST終了後は、40回or141回の時短付き。後者の引き戻し確率は約36%と、3回に1回以上は引き戻すことができ、ST後のテンションを下げない工夫の一つになっている。

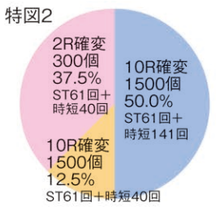
この機種でもう一つ注目したいのが、稼働支援システムを多数搭載したことだ。夕方からしか突入しない「女子会モード」や±α回転の遊技を促進する「ターゲットカウンター」は、アウト向上に直結する。他のデモ画面での「新台表記」や「あさいち一発演出」、「ゲームナビ」「ラウンドガイド機能」なども、プレイヤーの心理にしっかり寄り添った機能と言える。コアユーザーだけに的を絞らず、幅広い層をターゲットにした開発コンセプトにも好感がもてる。

©武論尊・原哲夫／コアミックス1983 版権許諾証 YTU-855
©武論尊・原哲夫／コアミックス1983,©DD北斗の拳2013,2015

特図1



特図2



コロナ時代の店舗美観と感染症対策
「ガサツチェックコンテスト」優秀法人に学ぶ！
メッセ（東京都）

グローバルアミューズメントが2020年8月後半から11月に実施した、店舗環境評価のスコアを競う『ガサツチェックコンテスト2020全国大会』で高い評価を得た法人は、どのように店舗環境向上に取り組んだのか。

「お客様にとって快適な店」とは、店舗環境が良いストレスが少ない店。ゴミ、汚れがないことはもちろんのこと、従業員の姿勢、掲示物の傾き、収納棚の扉の開け放し、什器の破損といった、店内の「ガサツ」さがストレスの要因になる。2020年は店舗のガサツさが、来店客に「感染症対策が徹底されていない」という印象を与えることになったため、ガサツさを払しょくすることはかつて以上に重要度が高まった。

メッセが2018年に『ガサツチェックコンテスト』に初参加したときは、全社平均点は平凡なものだった。それがこの3年間で劇的に店舗環境のレベルを高め、2020年は、法人賞のほか、最優秀店舗賞である「ダイヤモンド賞」、「金賞」、「グッド店」を獲得した。

人事総務部人事課で育成責任者の八木橋佳代子さんはこの成果を次のように語る。

「会社として『経費最小、効果最大』、『時間最小、ES最大』をスローガンに『経営理念、経営指針の実現に必要なこと以外は捨てる』ということに取り組んでいます。店舗環境の改善も仕組み化し必要なことに集中した結果だと思います。取り組みの見える化や失敗事例も共有したことで、『快適な店舗環境』の基準が明確になったことが急速に改善できた要因だと思います」

各店舗が毎週、廃棄物、改修箇所の写真、清掃の仕方を記録。月に1度、集中美化箇所を各店が決め、該当箇所の事前・事後の写真を添えた報告書を作成。これらをイントラネット上で全店舗が共有している。評価が低かった店舗については、店長会議などで『どうすれば改善できるか?』という視点でアイデアを出しあってきた。

同社は、従来行っていた従業員同士の「ありがとうカード」を18年にデジタル化（ポイント付与・残高管理をオンライン化）し、褒賞のテーマを、「ありがとう」「接客」「清掃」の3つに分類した。清掃活動で活躍したスタッフには「清掃コイン」が贈られる。毎月、店舗内で各コイン獲得数が多い従業員が表彰され、半期に1度、全社の中から優秀者が選ばれ表彰される。

同社にとって、店舗美観・店舗環境の快適さはどのような意味があるのだろうか。

「従業員にとって、店舗美化に取り組むことは人材育成、心の育成だと考えています。働く環境が快適になれば働く皆が気持ちよくなり、本人も家族も誇れる場になるはずで。もうひとつは、お客様が誇れる居場所づくりを実現したいと考えているためです。お客様に認めていただければ、いずれ地域の方々、世間にも伝わるはずですから。また、これは意図していたことではないのですが、『ガサツチェック』に取り組んだ副産物として、従業員からの提案が非常に増え、社内の情報の流通量が増えました。これは大きな成果です」

メッセホールディングス
人事総務部人事課 八木橋佳代子さん

「メッセ西葛西店」が最優秀ダイヤモンド賞に輝いたほか、「法人賞」も受賞した

井岡一翔が王座防衛
SANKYOがタイトルマッチに協賛

SANKYOのロゴ入りトランクスで戦った井岡

SANKYOが協賛して大晦日に大田区総合体育館で開催された「SANKYO Presents LIFETIME BOXING FIGHTS 5 WBO世界スーパーフライ級タイトルマッチ」で、WBO世界スーパーフライ級王者の井岡一翔（31：Ambition）が同級1位で挑戦者の田中恒成（25：畑中）を8回TKOで下し、2度目の防衛を果たした。

2019年6月に日本男子初の世界4階級制覇を達成した井岡は、自身の日本選手世界戦最多勝利数を17に伸ばした。井岡は5回、6回に左でダウンを奪い、8回に左を決めた後にレフェリーが試合を止めた。1階級上げて初戦だった田中は初黒星を喫し、世界4階級制覇はならなかった。

パイオニア／ハナハナ20周年
サウンドトラックを配信

パイオニアは12日、「パイオニアオリジナルサウンドトラック」の配信を開始。同時に「パイオニアサウンドフリー宣言」を掲げた。楽曲配信第一弾は、『ニューハナハナゴールド・30 サウンドトラック』。全14楽曲のアルバムで、1曲ずつ購入することもできる。

iTunes Store、Apple Music、Amazon Spotifyなど全47サービスで配信予定。今後発売する機種の楽曲やベスト盤なども随時配信する予定だ。

『パイオニアサウンドフリー宣言』は購入した楽曲をSNSやライブ配信で自由に使用することができる業界初の試み。楽曲をパチスロファンだけでなく、より多くの人々に楽しんでもらいたいという想いを込めた。

『ハナハナ』は今年20周年を迎える人気シリーズ。初代『ハナハナ・30』から最新作『ニューハナハナゴールド・30』まで17機種（コインサイズ違いを含む）をリリースしている。

山佐グループ
ニューパル28周年
記念プロモーション続々

山佐グループは12日、1993年に『ニューパルサー』が誕生してから今年で28周年を迎えたことを記念して、さまざまなプロモーションを展開していくと発表した。

同日にはニューパルサー28周年記念WEBサイトをオープン。このサイトでは今後ニューパルシリーズの歴史や未来の礎を築くポータルサイトとしてさまざまなコンテンツを追加していく予定だ。さらに、2月28日をニ（2）ューパ（8）ルサーの日に記念日登録。新たなニューパルの歴史を刻むために28周年の記念ロゴも作成し、さまざまシーンで使用していくという。

同日からはニューパルサー28周年記念WEB CMも公開。山佐グループの「重大発表記者会見」と題したCMでどんな発表が行われたのか必見の動画だ。1月19日には第2弾のCMも公開される。CMは山佐グループ公式YouTubeチャンネルおよびツイッター（山佐PR情報局）とニューパルサー28周年記念WEBサイトで公開されている。

ほかにも山佐グループでは今年、ニューパル28周年を記念して毎月キャンペーンを実施していく予定だ。

ニューパルサー 28周年記念WEBサイト
©YAMASA ©YAMASA NEXT

第1弾のWEB CM

サミーネットワークス キャンペーン総額777万円
パチンコ・パチスロアプリ「777Real」

サミーネットワークスは7日、新しいパチンコ・パチスロアプリ「777Real」（スリーセブンリアル）のサービス提供を開始した。事前登録者が30万人を超えたため、景品総額777万円・当選人数1万人のリリース記念キャンペーンを1月18日まで実施中だ。

基本プレイ無料、スマホ・タブレット向けのスリーセブンリアルでは、機種をプレイするときの元手となるゲーム内通貨「PG」を消費して、豪華景品が当たる抽選に応募できる。PGを増やす一番の方法は、ゲームでの勝利。獲得した出玉をPGに還元できる。

キャンペーン期間中は、すべての機能を無料で利用できる。オートプレイやサウンド機能といった有料コンテンツも無制限。PGで高額Amazonギフト券や人気家電などに応募する際も、課金アイテム購入時に付与されるチケットが不要だ。

サービス開始時の配信機種は、サミー最新機『P真・北斗無双 第3章』のほか、『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』『アナザーゴッドハーデス・奪われたZEUSver.』など8機種。キャンペーン期間中は、パチスロゲーム全台が最高設定だ。

今後は景品ラインナップを毎月入れ替えたり、配信機種を拡充させたりするという。

777 Real
公式サイト

人事
パイオニア
12月21日付
取締役会長　安村健栄
代表取締役社長　片田富穂
代表取締役専務　正岡伸朗

機種情報について ▼時短はSTを含めた回数です ▼パチスロのボーナス枚数は、すべて純増です ▼導入予定日（最速）は納品日ではなく、オープン日を指します ▼問い合わせ先は各社最寄りの営業担当まで ▼スペックはアミューズメントジャパン調べ

New Machine Digest 新製品

『飛沫対策空気清浄機　ミーティング用ロータイプ』
ウイルス大の粒子を高効率で捕集

新型コロナウイルス感染防止対策として、換気回数を増やすことが推奨されている。しかし、換気扇や窓がない会議室など、換気が難しい場所もある。このテーブルタイプの空気清浄機は、中央の吸込み口からウイルスとほぼ同じ大きさの粒子（0.08μm）を高効率で捕集することが可能。浮遊ウイルスは15分経過してもほとんど数が減少しないと言われるが、この空気清浄機を作動させれば、3分で自然減衰の90%以下、5分で99%以下に減少することが確認されている。

風量も多く、より大きな空気清浄効果が得られる

㈱トルネックス
TEL.03-5643-5800
www.tornex.co.jp/

『トレーラーホテルTrail inn』
動くホテル 530万円で販売中

ホテル利用のほか、自然災害やウイルスの脅威に対して、応急住宅やテレワーク用施設など、様々な活用法が期待されている

1部屋分をトレーラーで自在に移設できる工場生産規格型の「動くホテル」を購入する投資家を募集。販売価格は530万円（税別）で1口から購入可能だ。投資家は、購入した物件をホテル営業者であるヒーローライフカンパニーに賃貸し、事業収益の一部を賃料として得ることができる。建築物ではなく車両であるため基礎も不要で、税法上の優遇措置を受けられる。広さは13㎡で、ベッド、ユニットバス・トイレのほかキッチンや洗濯機なども完備。販売中の物件の現地見学会も実施する。

㈱ヒーローライフカンパニー C&U 営業部
TEL.03-5473-0539
https://herolife.jp

スマホ／タブレット『液晶コーティングシート』
抗菌作用が半永久的に継続

超微粒子自己結合性酸化チタンやイソプロピルアルコールを含み、光触媒コーティングと同じ効果が得られる液晶コーティングシート。菌やウイルス、花粉、カビ、ニオイの原因菌などの有機化合物を光のチカラで持続的に分解し、安心でクリーンな環境を保つ。最初にスマホ・タブレットなどの表面の汚れや油膜を軽く拭き取り、シートを擦りこむように塗り込む。表面の水分が消えるまで十分乾燥させ、最後に軽く空拭きすれば完了。総付け・端玉景品に最適。

加工後、室内灯や太陽光などの下では繰り返し菌（ウイルス）を分解する

マルホン工業㈱ 東京支店
TEL. 03-5807-8520（担当／高田）
https://maruhon-kogyo.co.jp/

『スペースボックス タイプS』
『スペースボックス』にスロット島版

白を基調としたModernと木目調のWoodの2種類を用意。底板はロング、色は黒のみ

とよマーケット

パチスロ台のサイズを基に設計し、大幅な工事も必要なく簡単に組み立て・設置可能な『スペースボックス タイプS』。棚部分は小物置きスペース。底板部分はカバンやジャケット、軽食や飲み物、スマホやタブレットを立てかけることもできる。飛沫防止のクリアウォールやUSB2口・コンセント2口を標準装備。メダルサンドを外して設置する場合でも付属品のサイドパネルでカバーすることも可能。飛行機のファーストクラスのようなワンランク上の遊技スペースを提供できる。

豊丸産業㈱
TEL.052-452-8111（代）
https://www.toyomaru.jp/sbx/

光触媒コーティングソリューション『ナノゾーン』
新型コロナウイルスを不活化

『ナノゾーン』で使われる世界最小レベル（2ナノ）の酸化チタンは、光エネルギーを吸収して強い光触媒作用を発揮する。酸化チタンに光が当たると、空気中の酸素や水分に反応し活性酸素が発生。ウイルスや菌、カビなどを酸化分解させ、死滅分解または分解減少させる仕組みだ。可視光を新型コロナウイルスに30分照射して30分後に測定したところ、検出限界以下になった（＝100%不活化した）ことが第三者機関によって証明されている。

微粒子状にした成分を噴霧定着させることで永続的なコーティングができる（写真はマルホン工業のショールーム）

㈲フォルテ
TEL.03-6715-1210
https://f-forte.co.jp/hikari

オリンピア
パチスロラブ嬢2プラス
問い合せ／㈱平和　導入予定日 3月8日

プラス要素を満載した6.1号機にリニューアル

初代「ラブ嬢」を意識してリニューアルした最新作は、前作「ラブ嬢2」よりも初当たり確率を軽くしつつ、出玉期待感をアップ。レア役で3ケタ乗せが濃厚の差枚数管理型ATとしたほか、AT継続方式をループ率抽選からループストック数管理に変更した。AT中に減少区間がなく、常に増え続けるので安心だ。出玉にメリハリを生む「ラブ嬢ルーレット」も復活。毎ゲーム最低でも100枚以上を乗せる「バズーカ!!」の性能も向上させた。通常時は80G到達で期待度50%以上のCZ「アフターデート チャンス」が濃厚。1回、3回、7回、10回目といった特定回数時のデートは、AT突入の期待が強まる。

ATタイプ（純増約2.7枚/G）
AT初当たり確率：1/303.1（設定1）～1/203.9（設定6）
出玉率：現在調査中

オリンピア
パチスロ青の祓魔師
問い合せ／㈱平和　導入予定日 3月8日

©加藤和恵／集英社・「青の祓魔師」製作委員会・MBS

安心と緊張を行き来し純増9枚を自力で継続

『ジャンプスクエア』で連載中の同名コンテンツは、悪魔の血を引く少年が主人公のダーク・ファンタジー。その独特な世界観を高純増AT機で表現した。AT「超祓魔RUSH」の突入契機は、規定G数消化から発展するCZ「エクソシストバトル」での勝利。突入後は「無敵ZONE」と「自力ZONE」を行き来する。前者は色目押し・押し順のベルナビ回数を消化しきるまで継続。後者はリプレイ・ハズレで転落の危機を迎える。転落後は継続ジャッジ演出へ。押し順正解で無敵ZONEに復帰する。ベルナビ10回ごとに抽選されるVストックがあれば、継続ジャッジで全ナビが発生。緊張が安心に変わる。

ATタイプ（純増約9枚/G）
AT初当たり確率：現在調査中
出玉率：現在調査中

大都技研
政宗3
問い合せ／大都販売㈱　導入予定日 2月8日

©DAITO GIKEN,INC.

7揃いの爽快感が再び多彩な特化ゾーン搭載

政宗シリーズの新機種は差枚数上乗せ型のAT機。メインAT「幸村決戦」は、「BONUS」と1セット10G+αの「決戦中」という2つのパートをループさせて出玉を獲得するゲーム性で、そのループ率は約88%を誇る。「決戦中」は、青7揃いで「政宗BONUS」、赤7揃いで「幸村BONUS」に突入する。多彩な上乗せ特化ゾーンも用意しており、青7揃いで差枚数を上乗せする「追撃」やBONUS超高確率ゾーンの「小十郎助太刀」、継続率90%×最大上乗せ500枚の本機最強特化ゾーン「秀吉決戦」などに注目。ATが終了しても押し順に正解すれば再突入するので、最後の最後まで楽しめる。

ATタイプ（純増約3.7枚/G）
AT初当たり合算確率：1/358.8（設定1）～1/274.0（設定6）
出玉率：97.4%（設定1）～110.5%（設定6）

アミューズメントが5Gに期待する変化とは

次世代の移動通信規格である5G（ファイブジー、5th Generation）が昨年、ついに商用サービスを開始した。対応エリアの拡充が見込まれる今後、利用シーンが拡大することは必至。5GによるICT（情報通信技術）の発展は、アミューズメント業界をどのように変えるのだろうか。

2020年3月25日、ついに日本でも5G（第5世代移動通信システム）対応のスマートフォンが登場した。先陣を切ったのはNTTドコモで、KDDIとソフトバンクはそれぞれ1日遅れ。楽天モバイルは9月30日にスタートした。

5Gが大きな話題を呼ぶ理由は、「高速大容量」「高信頼低遅延」「多数同時接続」の通信が可能になるためだ。4Gと比較すると、通信速度は20倍、遅延は10分の1、接続可能な機器数は10倍に。日々の暮らしが豊かになるだけでなく、ビジネス面でも新興市場の創出やDX（デジタル・トランスフォーメーション）が加速すると期待されている。

5Gの3大特徴

»高速大容量
通信速度が飛躍的に向上。4Gで下り最大1Gbps、上り最大数百Mbpsだった通信速度が、5Gでは下り最大20Gbps、上り最大10Gbpsになる。

»高信頼低遅延
5Gの遅延は1ミリ秒（1000分の1秒）。4Gに比べて10分の1になる。タイムラグを感じない上に、安定した接続状態を保てるようになる。

»多数同時接続
1キロ四方の中で接続できる機器数が、4Gの10倍である100万台に。スマホだけでなく家電やウェアラブル端末など、IoTが本格化する。

この5Gがアミューズメントにもたらす変化とはどのようなものなのか。ゲーム業界に詳しい、ファミ通グループ代表の林克彦氏に話を聞いた。

林氏は5Gがゲームファンにもたらすメリットについて「大量のデータのやり取りが頻繁に発生するようなゲームや、多人数でリアルタイムに同時にプレイするようなゲームはある程度の通信環境が整っていなければ、読み込みができなかったり、遅延が発生したりする場合があり、5Gが広まると仲間内で集まったときでも通信環境を気にせず遊べるようになります」とゲームがより身近になり、気軽にプレイできる環境になると考えている。

5Gが普及することで、ゲーム意欲を低下させる原因の一つだった長時間のダウンロードやアップデートも改善されるという。

「場所を問わず、自分がプレイしたいときにダウンロードしてすぐにプレイできるようになるなど、ゲームのプレイ障壁が下がります。公共の場の通信環境は弱いので通信に時間がかかってしまいますが、5Gだと通信速度は一律で担保されます」

ゲームをプレイしようと思っても、Wi-Fi環境にいないとダウンロードができなかったり、時間がかかってしまったりするとプレイする前に諦めてしまう人もいたはず。こうした問題が解決されることで、もっと気軽にさまざまなゲームをプレイする人が増えていくだろう。

では、パチンコ業界ではどのような変化に期待できるのか。池澤守企画代表取締役の池澤守氏に、5Gによってパチンコ業界に応用できる技術について話を聞いてみた。

「プレイ中のパチンコ台と顧客のスマホとを5Gを介してワイヤレスに連携させることで、遊技データのリアルタイム表示はもちろんのこと、リーチ時の連携演出やリプレイ映像の再生も可能となります。また、「VR（仮想現実）」と「AR（拡張現実）」を複合した「MR（複合現実）」デバイスの装着プレイが可能になれば、パチンコ台側の映像ディスプレイが不要になるばかりか、没入感溢れるMR映像と台のギミックとが合体した新次元のパチンコ体験も技術的には可能です」

これまでも3D映像やプロジェクションマッピング技術を取り入れるなど、パチンコ・パチスロは進化を遂げてきた。さらに5Gが全国的に普及すると、まったく新しい遊び方でユーザーを楽しませてくれる遊技台が誕生するかもしれない。

クレド
コロナ禍にも強い福祉ビジネス
デイサービス施設『リゾートアロハ』

クレドが展開するデイサービス施設『リゾートアロハ』のFCビジネスが注目を集めている。最大の理由は、コロナ禍など社会情勢や経済情勢に左右されない安定した福祉ビジネスだからだ。

コロナ禍でさまざまな経済活動が停滞しているが、『リゾートアロハ』は順調に開業実績を伸ばしている。

その理由はいくつかあるが、このFCが「会員制ストック型ビジネス」である点が大きい。契約会員数を増やしていく事業モデルのため、社会情勢に左右されにくく安定した収益が見込めるのだ。売り上げの約9割は保険料収益として保険者（市区町村・広域連合）から確実に支払われる。万一、通所者（被保険者）の支払いが滞っても全体の収益には大きな影響がない。

娯楽設備が充実。時間を忘れて楽しむことができる

また、社会資源と呼ばれる社会貢献ビジネスである点も安定経営の大きな理由だ。シニアマーケットは拡大を続け、40年間は介護の需要が途切れることがない。20年後には、介護事業の市場規模は現在の1・6倍（25・8兆円）まで伸びると試算されていて、将来にわたり安定経営が続くものと考えられている。

定員30人・90％稼働のビジネスモデルのイニシャルコストは約3ー150万円から。このほか、ロイヤリティが1カ月15万円かかる。クレドの本社がある岐阜県に直営店3施設、全国でFC方式の13施設が運営中。安定期の目標値「売上げ年間約6500万円、営業利益約2000万円」を達成している既存施設も多い。初期投資の回収期間は2年半から3年と短いのも魅力だ。

お風呂は、プライバシーを重視した個室入浴。機械式座浴も導入し、足の不自由な人でも入浴が可能だ

『リゾートアロハ』の経営が安定している理由は、介護市場の安定性だけではない。「楽しい」を通ってもらうための動機付けにしている点も見逃せない。パチンコや麻雀、ビリヤードをはじめ、各種ゲームや運動器具、入浴施設などを完備している。

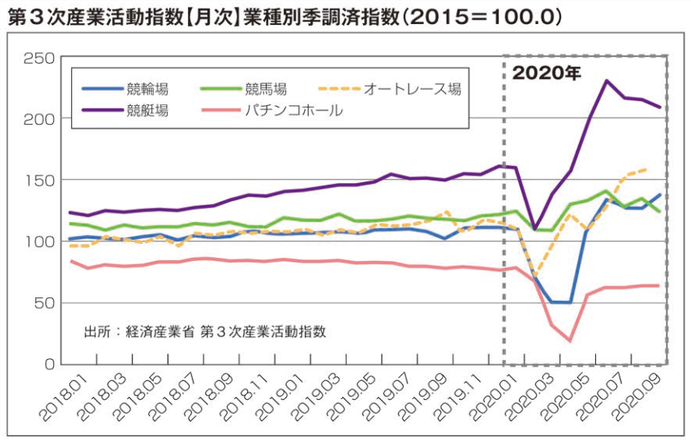
昼食は、管理栄養士監修の介護食で、日替わりの複数メニューの中から好きな物を選べる。体の状態に応じて、刻み食やミキサー食、ムース食、透析食にも応じてくれる。

『リゾートアロハ』を運営するクレドは、元々ホール法人としてデイサービス事業に参入した。ホール業界で培った接客やエンターテインメントのノウハウをそのまま施設の運営に生かしている。クレドの担当者は、「ホール法人様は、参入が非常にスムーズですのでお勧めします」と話す。

クレドは1月20日、2月3日、10日、17日（いずれも水曜日13時～15時）に、オンライン説明会を開催する。事前申し込みは公式サイト（デイサービスアロハで検索）または、左記QRコードから。問い合わせは電話0574-50-8867へ。

公営競技
コロナ禍で好調を維持

第3次産業活動指数【月次】業種別季調済指数（2015＝100.0）



2020年の公営ギャンブル4種目の売上（発売金額）は新型コロナ禍にありながら総じて好調だった。いずれの種目も多くのレースが無観客で行われ、投票券の販売はほぼインターネットだった。

中央競馬の12月末までの年間売上高は、前年比103・5％で9年連続増収。中央競馬は2019年の時点で売上（発売金）の70％が「電話・インターネット投票」だったが2020年にはこのインターネット経由の売上が35・6％も増えたことが増収に寄与した。

経済産業省が公表している、サービス産業の活動を指数化した「第3次産業活動指数」にもこの状況は表れている。これは景気動向を捉える指数として広く認識されている指数のひとつ。

2015年平均を基準（＝100）とした各公営ギャンブルの活動指数（季節調整済）を見ると、競艇、競馬、オートレースは緊急事態宣言下の4月に持ち直し始めた。「ステイホーム」が娯楽の選択肢を狭めたことで、自宅からネットで手軽に遊べる公営ギャンブルに娯楽費が流れ込んだようだ。

一方、この活動指数においても、パチンコホールは緊急事態宣言が明けた後も低調が続いている。

20年のカジノ収益前年比79％減
マカオ

マカオ特別行政区のゲーミング産業の規制機関、博彩監察協調局によると、マカオ内の全カジノ施設の2020年12月度のカジノ事業収益（GGR）は、11月より増加したものの前年同月比を65・8％下回る約1005億円にとどまった。1月から12月の累計収益は約7773億円で前年を79・3％下回った。

マカオは2月5日から15日間にわたり41あるすべてのカジノ施設を閉鎖するなど、初期段階からCOVID-19拡大防止のために厳しい対応をしてきた。入境規制などによって6月25日以降、新型コロナウイルス感染者は確認されていないが、観光産業は厳しい状況が続いている。

IR誘致の賛否問う住民投票案を否決
横浜市議会

横浜市の市議会政策・総務・財務委員会は7日、IR誘致に反対する市民団体が11月に横浜市に提出した19万筆を超える署名が求めていた、IR誘致の是非を問う住民投票を実施するための条例案を否決。条例案は8日の本会議でも否決され、住民投票は実施されないことになった。

市民団体が昨年10月7日に発表した署名活動の中間集計が法定数を大きく上回ったことを受け、林文子市長は住民投票が行われた場合に「結果を尊重する」と発言した。

しかし審議が近づいた昨年末には、住民投票に多額の費用がかかることや議会での議論を基本とするべきなどの理由を挙げ、「住民投票をすることに意義を見い出しがたい」と否定的見解を発表した。

市議会は自民・公明が多数派を占めていることから、もともと本条例が可決される可能性は低いと見られていた。

横浜市
依存症対策の現状と課題
市民向けIRシンポジウム開催

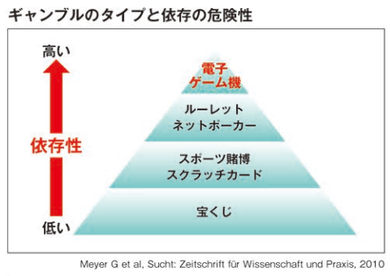
横浜市が12月18日にオンラインで配信した「横浜IRを考えるシンポジウム」の第二部では、2つのパネルディスカッションが行われた。そのパート1は「ギャンブル等依存症対策の現状と課題」で、開催会場では松下幸生氏（久里浜医療センター副院長）、三原聡子氏（久里浜医療センター臨床心理士）、高橋英彦氏（東京医科歯科大学大学院教授）、ギャンブル依存症回復施設「グレイス・ロード甲斐サポートセンター」の池田文隆センター長が登壇。オンライン中継でシンガポール国家依存症管理サービス機構（NAMS）のコンサルタントで精神科医のゴマシヤナガン・カンダサミ氏が参加した。

まず松下副院長が、一般的に「ギャンブル依存症」と呼ばれるものについて、①ギャンブル依存症は正式な病名ではない、②かつては「病的賭博」という疾患名で、依存ではなく衝動制御の障害とされていた、③2013年の改訂版DSM-5から嗜癖性障害とされ病名は「ギャンブリング障害」に変更されている、と説明した。

ギャンブリング障害にはさまざまあり、「行動的条件づけ」「情緒的に脆弱」「反社会的・衝動的」の3つに大別できるという。第一は、精神科合併症がないタイプ。第二は、うつ病、不安障害が合併しているか、コーピング（ストレッサーへの対処）や問題解決能力が乏しいタイプ。第三は、衝動性が高く、注意欠陥で反社会的傾向があるタイプ。

日本の状況として、2013年6月から16年7月の間に久里浜医療センターギャンブル外来を受診した114人が主に遊んでいるギャンブル種目は、競馬が19・6％であるのに対してパチンコ、パチスロはいずれも約7割と突出していると説明した。

ギャンブルのタイプと依存の危険性



Meyer G et al, Sucht: Zeitschrift für Wissenschaft und Praxis, 2010

また、宝くじやスポーツ賭博に比較して、電子ゲーム機（パチンコ・パチスロはこれに該当する）はギャンブリング障害を引き起こす危険性が高いという研究結果を紹介。電子ゲーム機による「ニアミス効果」「勝ちに見える負け」が依存性を高める要因とされている。

高橋教授は、脳活動（fMRI）の研究から、ギャンブリング障害患者には、「衝動性」「報酬と罰への感受性が鈍感になっている」「直接的な手掛かり刺激に対する渇望反応」において物質依存と共通点があることを紹介した。治療法に関しては、「現時点では薬物依存やアルコール依存の治療方法を踏襲することになる」としながら、「理想的には脳に直接作用するような治療法を開発したい」と述べた。

世界的に見ても、いまだギャンブリング障害の治療のために認可された薬物はないが、松下氏は、アルコール依存の治療薬として日本以外では多くの国で認可されている麻薬拮抗薬（ナルトレキソン）を「有望」と説明。また、これとよく似たナルフェメンが日本で減酒治療薬として認可されており、「ギャンブリング障害の治療に有効性があると指摘する研究結果もある」と紹介した。そのうえで現在の標準的な治療法は認知行動療法であり、回復の過程では周囲の支援も非常に重要な要素だとした。

シーズリサーチ調査
12月の平均客数（前年比）パチンコは3ポイント減

パチンコ業界に特化した市場調査を行うシーズリサーチ（東京都）が、EXSIM2（グローリー、グローリーナスカ）のデータを集計・分析したレポートによると、12月度の全国のホールの平均稼働はパチンコが前年同月比約75％、パチスロが同72％の水準で、いずれも11月度の前年同月比水準より低下した。

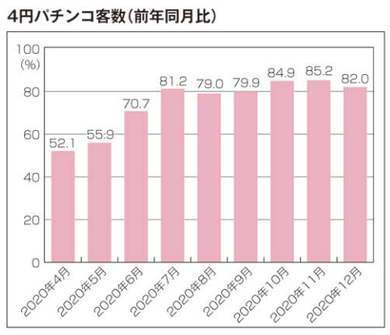
12月度の平均客数の落ち込みはパチスロよりもパチンコで大きかった。パチンコ客数は、4円貸しが前年同月比82・0％で前月より3・2ポイント減少、低貸しが同77・7％で前月より2・9ポイント減少。パチスロ客数は20円貸しが同84・7％で前月より0・2ポイント減少、低貸しが同89・4％で前月より3・4ポイント減少した。

パチンコ4円貸しの平均客数を男女別に見ると、12月度は男性が前年同月比96・3％だったのに対して女性は同77・9％。4月から12月を通して、前年と比べて女性客が少ない状況が続いている。平均客数を年代別に見ると、4月から12月まで20代～30代の構成比が前年より高い状態が続いており、12月度では前年同月より6・7ポイント高い35・1％だった。

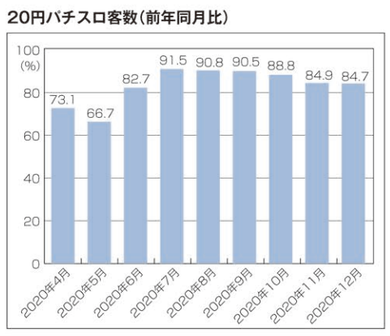
パチスロ20円貸しの平均客数を男女別に見ると、12月度は男性が前年同月比87・6％で女性は同86・7％とほぼ同水準。平均客数を年代別に見ると、12月度は20代～30代の構成比が46・1％、40代～50代が42・6％。6月以降、40代～50代の構成比が前年同月よりやや高く、その一方で20代～30代がやや低い状態が続いている。

シーズリサーチは同社WEBサイトで詳しいレポートを公表している。

4円パチンコ客数（前年同月比）



20円パチスロ客数（前年同月比）



マーケティング講座 増客する店長の視点 シーズン3 ㉕
思考停止人材を生む企業の末路

株式会社 第二営業部 堀川和映 顧問

銀行で融資業務を担当している古くからの友人から尋ねられました。

「どうして売上も伸びず、利益も出ていないのに、やり方を変えないんだ？ あれでは借り入れでほんの少し企業寿命を延ばしているに過ぎないじゃないか」

「こんな環境だから、業績を上げて利益を出せる方法なんてないと言うけど、それは本当か？」

そんな訳ありません（笑）。

彼は、融資した企業が手を打とうとしないのは解せないと怒っていました。

厳しい環境の中でも業績を維持している企業の人に聞くと、「打つ手があり過ぎて追いつかない」と言います。業績を思い通りに伸ばせないのは、やろうとしている施策があるのにやり切れない自分に問題があると考えているようです。

窮地に陥っている企業の人に話を聞くと、「環境が悪すぎて打つ手なし」と言います。業績が低迷しているのは、環境が悪化しているためで、早く景気が回復してほしいと考えているようです。

しかしマーケティング力のある企業側から見たら、これほど助かる話はありません。環境変化に適応できない企業を相手に競争するのですから。

ゾンビ企業とは、実質経営は破綻しているのに、公的支援を受けて延命されている企業をいいます。本来ならばとっくに倒産・廃業していてもおかしくない企業が、たまたま公的融資を得られたことで延命されるのです。そこには経営を改善するための知恵も技術もないのですから、実質的には「お前はすでに死んでいる」と言えます。

企業が破綻するのは経営者の問題ですが、現実には、そこで働く人々にも多大な影響が及びます。いよいよ破綻という時になって当人に実力がなければ、望むような転職は難しく、仮に転職できても前職並みの給料の確保は無理だと心得るべきでしょう。

管理職や企画などの職種では、思考停止した人材は採用されません。思考停止とは、『学習性無力感』に囚われ、自ら思考することができなくなった組織から生まれる風土文化を揶揄して表現されます。『学習性無力感』とは、長期間にわたって回避できないストレスを経験することで、「何をやっても無駄だ」という認知が形成され、その不快な状況から逃れようとする努力すら行わなくなってしまう現象です。ですので、思考停止状態になることは本人の問題だけではありません。

企業が従業員を思考停止状態にしてしまうプロセスは次の通りです。

（1）社内で教育をしない
視野が狭くなる→知性が低くなる→判断が悪くなる
（2）失敗を責める社風
挑戦しなくなる→指示待ちになる→隠すようになる
（3）情報を閉ざす文化
知っていることが価値になる→組織間の連携が取れなくなる→業績の低迷が続くようになる
（4）判断するなという指示
自己責任感が無くなる→当事者意識が無くなる→思考することが無くなる

企業が思考停止した人材の溜まり場となれば、ゾンビ企業へと墜ちていくことは避けられないでしょう。

ほりかわ・かずあき
株式会社 第二営業部 顧問／パチンコホール経営企業、セキュリティ会社役員、遊技機メーカー管理職など多彩な経歴で遊技業界歴は35年以上。現在はパチンコマーケティングを中心に講演やセミナー、勉強会を開催している。

DD北斗の拳
TAKAO
P DD北斗の拳2
ついでに愛をとりもどせ!!
©武論尊・原哲夫／コアミックス 1983 版権許諾証 YTU-855
©武論尊・原哲夫／コアミックス 1983, ©DD北斗の拳 2013, 2015
DD北斗シリーズ最新作登場!!
北斗神速V-ST×高継続RUSH!!

ニューパルNEXT 28 ニュー パル 28th Anniversary

おかげさまで
ニューパル28周年

2月28日は、ニューパルの日

YAMASA YAMASA GROUP
©YAMASA ©YAMASA NEXT
【製造元】山佐株式会社 【総販売元】山佐ネクスト株式会社
スロプラス For Mobile SLOT PLUS 搭載機種
https://yamasa.co.jp

ダウンロード素材配信中! ホール様専用WEBサイト YAMASA MEMBERS CLUB
山佐メンバーズクラブ https://www.yamasa.co.jp/ymc/
会員登録などの詳細は担当営業マンにお問い合せください。

特集　深化する依存問題対策

新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済活動が停滞した2020年。業界の最大の課題である依存問題対策はどう動いたのか。時代の変化とともに変わりゆく依存問題対策のいまを考える。

［回復施設の現場から］変わりゆく「依存」の中身

業界に求められる社会との共生

新型コロナウイルスの感染拡大など社会環境の変化によって、ギャンブルで問題を抱える人の傾向も変わってきている。ギャンブルで問題を抱える人の回復施設であるNPO法人ワンデーポート施設長の中村努さんと、浦和まはろ相談室代表で精神保健福祉士の高澤和彦さんに相談現場のいまを聞いた。

聞き手／野崎太祐（本紙）

コロナ禍で相談が増えた公営競技への依存

――コロナ禍の2020年。ワンデーポートではどんな変化がありましたか？

中村　相談数も減ったし、新たな利用者も少なかったです。そういう意味では、とくにパチンコ・パチスロに関して依存の問題は深刻化していないと思います。一方で、オンラインのギャンブルに起因する相談が増えています。4月から12月までにワンデーポートで電話相談を受けた人の問題化の原因になった種目は、公営競技を含むものが3割にのぼっています。FXやゲーム課金もオンラインなので、コロナ禍で様相が変わっていると思います。

――公営競技は、ほぼオンラインだけでしか賭けられない状況が長く続きました。

中村　電話相談だけでは実態はわかりませんが、ワンデーポートに来ている人を見ると、ひとレースに大金を賭ける人もいれば、少額でも数多くのレースに賭ける人もいます。ボートレースなどは全国でものすごいレース数が行われていますからね。破滅的に賭けるタイプと、空いた時間があれば常に賭けていなくてはいられないようなタイプに二極化している可能性があると思います。

――高澤さんが相談を受ける中で、2020年で特徴的だったことは？

高澤　同じですね。ネットを介したギャンブリングの相談が増えています。以前はほぼパチンコ・パチスロ一色でしたが、割合がずいぶん変わってきました。一方で、先の見えない経済不安を反映しているような相談も増えました。傍目に見るときちんと仕事ができているような人たちが、これ以上の収入増や出世が見込めないからと、FXなどに副業的な感覚で手を出して問題化するようなケースも経験しています。

――政府の依存問題対策も小休止といった感じでしたね。

高澤　国から自治体レベルに降りてきていますよね。都道府県による基本計画の策定などはかなり動いている。ただ、指定を受けた相談拠点・治療拠点などが依存問題の相談を受けていますが、解決につながらず、相談先を探して来られたというケースが結構ありました。

――地域の相談拠点は国や自治体の指示で仕方なく対応しているという感じですか？

高澤　病気の回復というモデルだけだと、ギャンブルの問題に関して見方が非常に狭くなってしまいます。そういう研修しか受けていない人たちが対応せざるを得ない状況があると思います。中には、相談者の話から推測するに、どう考えても20年ぐらい前のアルコール依存の対応をそのままやっているのではとしか思えない対応もあります。

中村　そもそも国は、相談に行けば改善するという思い込みで動いている。でも、相談に行っても特効薬があるわけではない。結局、当たり前の家族の問題とか、人生の問題と捉えるしかないんです。10年くらい前までは、明日食べるお金をどうするかみたいな相談があったんですが、最近では経済的に行き詰まって、仕事も辞めざるを得ない状況でといった切迫感のある相談はほとんどありません。なんとなく長い期間かけていろんな問題が蓄積したというケースがほとんど。急性ではなく慢性疾患みたいな感じですね。急性であれば、相談を受けて、とりあえずこれだけはこうしましょうと処置ができますが、慢性の人は、なんとなくアルバイトをやったり辞めたり、借金も破滅的ではないけれどずっとやっているとか。とりあえずすぐに動く必要がない相談が多いですよね。

――依存問題に関する世の中の関心も薄れているように感じますが。

中村　怖いのは、一旦制度化されてしまうと、予算がついてしまうので、依存問題に関する事業が形骸化したまま残るということ。そこで起きてくるのが、依存症をどんどん広げていくために、依存の問題を持っている人を「依存症」として扱うようなビジネスが広がることです。依存問題は引きこもりや発達障害などと同じ問題として考える必要があるんです。だから本当はトータルで考えないといけない問題です。例えば、パチンコホールが居場所になっている社会不適応な人がいるとしたら、その人の人生をどう考えるかにもパチンコ業界が目を向けてほしい。そうなると、依存問題対策という枠を超えて、社会の中でパチンコの役割を考えることが依存問題対策の着地点として見えてくるのではないでしょうか。

高澤　パチンコが直接的な原因ではないのかもしれないけれども、不適応をおこしている方や高齢者など、あるいは、そもそもほどよく何かができない人たちがパチンコホールにアクセスしてきたり、そこが居場所になっていたりして、そこで問題を抱える可能性はあるわけです。原因じゃないから関係ないではなくて、そういう方々もお店を利用するひとりと考えて、対応をどうするかを考えてほしいと思います。

適応力の弱い人たちが弾き出されていく

――最近のパチンコ・パチスロに関する相談に変化はありますか？

中村　相談件数じたいが減っています。その中でも、朝からホールに並んで、仕事も行かないでパチンコをやっているという相談は本当にないですよ。逆に、オンラインのギャンブルに関しては増えている状況で、問題が出てきている途中だと思います。ただ、ネット投票も上限を設ける流れになっていますよね。最近では、ゲーム課金の方がパチンコよりお金を使う人がいます。ゲーム課金は歯止めがない。しかもネットなので仕事中も仕事が終わった後も24時間できる。そういう意味では、パチンコは健康的ですよね。

高澤　結局、使える金額の上限が決まっているのは唯一パチンコだけ。ほかは上限がないので経済的な損失が短期間に大きくなりやすいですね。

――ゲーム課金で借金問題を抱えるケースもありますか？

中村　2020年に相談を受けたケースではゲーム課金が4件ありますが、多分すべて借金があると思います。

高澤　本人の携帯料金が家族割のようなプランで、親に請求がいく。それでも携帯は必要だからと家族が延々と払い続けて被害金額が大きくなってしまうような相談は、しばしば経験します。例えば、家族割を外してひとまず被害を減らして、この人は本当に適切にスマホを使える人なのかを見直すなど考えることがあるのに、一足飛びに病気だ治療だになってしまう。専門家に依存することで考えることを放棄してしまう傾向が強くなっている印象があります。

中村　普通に考えれば、家族内の問題。家族の中でちょっとした失敗があり、問題がある程度継続する。いまの社会は、そんななんとかなるような問題をことさら取り立てて、依存症だからどこかに相談に行きましょうとなってしまっている。そちらの問題の方が大きいんじゃないかな。

――ワンデーポートではギャンブル以外で問題を抱えた人も受け入れているんですか？

中村　いまは相談じたいが少ないので、そういう人はいません。逆に、人生のリセットが必要な人など、こういう施設が合う人であれば、どんな人でも来てもらえるという方向に持っていかなくてはいけないという思いはあります。

――依存の問題も時代とともに変わりますね。

中村　それはそうですよ。時代の変化に影響を受ける問題を「病気」にしてはいけないと思います。

高澤　コロナによって拍車がかかっていると思いますが、企業に余裕がなくなってきている中で、適応力が少し弱い人たちが弾き出されていく。そこが一番大きいんじゃないかな。1980～90年代のような余裕を持った社会には戻らないと思うんですが、多少できない人でも一緒に社会の中にいられるようになってくると、こういう問題はまた様相を変えてくるんだと思います。

グレーな人たちの問題は人生の問題や生活の問題

――ワンデーポートではコロナ禍で、近所の荒廃地を耕して畑にして、野菜を作ったりしていましたね。

中村　自分も何かやらなくてはいけないと悩んでいるなかで出てきたアイデアです。部屋の中でミーティングをやっているよりは前向きになれるのではないかと。でも野菜ができたらみんな喜んでいましたね。こうした活動は、どうせならギャンブルで問題を抱えた人たちだけではなく、障害者サービスを使うほどではないけれども、社会の中で居場所がないような人たちにも来てもらって、一緒にできたらいいのではと思ったりしています。

――新しい方向性が見えましたか？

中村　どんな方向に行けばいいのかは、ずっと考えています。「依存症は病気です」と勘違いして前向きにやっていた時の方が、何も考えなくていいので楽だったかもしれません（笑）。いまはいろんなものが見えてきてしまっている。依存問題に国や行政機関まで関わってくるようになってきた。その結果、どうも違うなあということも見えてきた。じゃあ自分たちの進むべき道とは何だろうと。社会の中で何かできないか。将来的には、一部で依存問題をやっているという形になっているかもしれません。

高澤　中村さんの話は多分、障害福祉の制度みたいなものにガチっとはまる人でもなく、かといってパチンコをやめるとか、競馬をやめるということで生活できるようになるわけでもないという、その辺の人たちなんですよね。昔は、破滅的にパチンコをやっていた人たちでも、パチンコをやめれば仕事がバリバリできるという人たちがいましたが、いまはそういう人はいないですね。

中村　昭和から平成のはじめごろにかけては、アルコール依存の問題でも、アルコールをやめれば社会参加できた人たちがたくさんいたんです。それがいま、アルコール依存でもそういう人がいなくなっている。少なくともAA（アルコール・アノニマス）やアルコール依存症の施設などでそういう話はあまり聞きません。それはギャンブル依存も同じで、ある意味、ギャンブルさえやめればどうにかなるという人がほとんどいなくなってしまっているんですよね。

――高度経済成長で社会がどんどん上向いていたときは、アクティブな人がいたということですね。

中村　ある意味、野心があってすごく頑張っちゃう人。そこに疲れてアルコールに浸ってしまう。今の若い人にそういう人はいないんですよね。

高澤　欲とか何かを極めたいという部分が少ない印象がありますよね。障害とは言えないけど、本当にふわふわっとした人たちをどうにかしなくてはいけない。

中村　国はそのふわふわっとした人たちに障害という名前をつけてどちらかにしたい。逆に障害を広げているんですよ。それでこの支援がありますよ、治療があります、と、医療などがやっているんですが、実際、そうしたグレーな人たちの問題は、人生の問題や生活の問題に入ってきている。行政機関や医療機関が解決できるものでもないのに、どうにかするのが行政機関の役割だとなってしまっているんです。

――ゲーム依存もそうなりつつありませんか？

高澤　逆にゲーム依存症という話が出て来てから、ちょっと違いませんかという意見が出てきている。子どものケアをする領域の人たちが、いわゆる依存症ベースの考え方に疑問を呈しています。

中村　人間的なお医者さんとか支援者さんはいます。そういう人たちの考え方が社会に広がるといいですよね。

高澤　会社や学校、家族の中で、人間としての居場所が狭まっている。その狭い中になんとか乗れというのが世の中の圧力なので、それに耐えきれない人たちが落ちていくのではないでしょうか。

安心アドバイザーに期待したい地域の医療福祉とのつながり

――パチンコに関して言えば、ホールに安心パチンコ・パチスロアドバイザーがいるようになりました。どんな役割が期待できますか？

高澤　まだまだこれからだと思いますが、自己申告・家族申告プログラムとうまく組み合わせていけば一定の意味はあると思っています。例えば、使用金額の上限で声をかけるとか、困っていそうな人がいたらとりあえず話を聞いてRSNと連携するとか。精神保健福祉センターの人に話をすると、「そんな仕組みがあるの？」「意外と良いかも」と言ってくださる方もいらっしゃいます。裏を返せば知らないわけですから発信も必要だと思います。

――安心アドバイザーは問題を抱えそうな人の一番身近にいる人たちですもんね。

高澤　ぼくらは比較的、パチンコ業界の方々とコミュニケーションがとれていますが、地域の保健福祉系の支援者の方々も安心アドバイザーと意見交換ができればいいですよね。お互いに見えている景色が違うので。依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会には、そういう狙いもあります。

中村　さきほどの話ではないですが、社会の中でパチンコホールがどういう存在かといったことを、福祉施設とパチンコ業界が一緒に考えることが、これからのパチンコにとって必要になるのではないかな。もしかしたら、ワンデーポートのような地域にあるNPOが、社会でうまく居場所を見出せない人たちの問題について、パチンコホールさんと意見交換することによって社会の問題を把握するとか。そういう方向性に依存問題は変わっていくんじゃないでしょうか。それはパチンコ業界にとっても良いことだし、ワンデーポートの仕事もそこでできるのかなと思います。

――お互いが地域の問題として捉えていくということですか？

中村　安心アドバイザーも、多分そういう役割が見えてくると思いますよ。パチンコホールに来る人だけを見ていたら、地域への広がりが持てないと思うんです。そこから一歩進んで、安心アドバイザーが地域に目を向けて、地域の障害福祉サービスを担っている程度継続する。いまの社会は、そんななんとかなるような問題をことさら取り立てて、依存症だからどこかに相談に行きましょうとなってしまっている。そちらの問題の方が大きいんじゃないかな。

――ワンデーポートではギャンブル以外で問題を抱えた人も受け入れているんですか？

中村　いまは相談じたいが少ないので、そういう人はいません。逆に、人生のリセットが必要な人など、こういう施設が合う人であれば、どんな人でも来てもらえるという方向に持っていかなくてはいけないという思いはあります。

――依存の問題も時代とともに変わりますね。

中村　それはそうですよ。時代の変化に影響を受ける問題を「病気」にしてはいけないと思います。

高澤　コロナによって拍車がかかっていると思いますが、企業に余裕がなくなってきている中で、適応力が少し弱い人たちが弾き出されていく。そこが一番大きいんじゃないかな。1980～90年代のような余裕を持った社会には戻らないと思うんですが、多少できない人でも一緒に社会の中にいられるようになってくると、こういう問題はまた様相を変えてくるんだと思います。

――依存問題に関する世の中の関心も薄れているように感じますが。

中村　怖いのは、一旦制度化されてしまうと、予算がついてしまうので、依存問題に関する事業が形骸化したまま残るということ。そこで起きてくるのが、依存症をどんどん広げていくために、依存の問題を持っている人を「依存症」として扱うようなビジネスが広がることです。依存問題は引きこもりや発達障害などと同じ問題として考える必要があるんです。だから本当はトータルで考えないといけない問題です。例えば、パチンコホールが居場所になっている社会不適応な人がいるとしたら、その人の人生をどう考えるかにもパチンコ業界が目を向けてほしい。そうなると、依存問題対策という枠を超えて、社会の中でパチンコの役割を考えることが依存問題対策の着地点として見えてくるのではないでしょうか。

高澤　パチンコが直接的な原因ではないのかもしれないけれども、不適応をおこしている方や高齢者など、あるいは、そもそもほどよく何かができない人たちがパチンコホールにアクセスしてきたり、そこが居場所になっていたりして、そこで問題を抱える可能性はあるわけです。原因じゃないから関係ないではなくて、そういう方々もお店を利用するひとりと考えて、対応をどうするかを考えてほしいと思います。

適応力の弱い人たちが弾き出されていく

――最近のパチンコ・パチスロに関する相談に変化はありますか？

中村　相談件数じたいが減っています。その中でも、朝からホールに並んで、仕事も行かないでパチンコをやっているという相談は本当にないですよ。逆に、オンラインのギャンブルに関しては増えている状況で、問題が出てきている途中だと思います。ただ、ネット投票も上限を設ける流れになっていますよね。最近では、ゲーム課金の方がパチンコよりお金を使う人がいます。ゲーム課金は歯止めがない。しかもネットなので仕事中も仕事が終わった後も24時間できる。そういう意味では、パチンコは健康的ですよね。

高澤　結局、使える金額の上限が決まっているのは唯一パチンコだけ。ほかは上限がないので経済的な損失が短期間に大きくなりやすいですね。

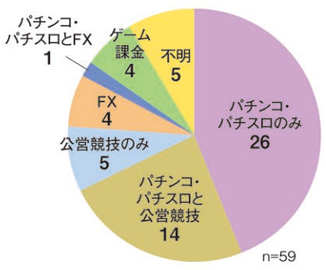
――ゲーム課金で借金問題を抱えるケースもありますか？

中村　2020年に相談を受けたケースではゲーム課金が4件ありますが、多分すべて借金があると思います。

高澤　本人の携帯料金が家族割のようなプランで、親に請求がいく。それでも携帯は必要だからと家族が延々と払い続けて被害金額が大きくなってしまうような相談は、しばしば経験します。例えば、家族割を外してひとまず被害を減らして、この人は本当に適切にスマホを使える人なのかを見直すなど考えることがあるのに、一足飛びに病気だ治療だになってしまう。専門家に依存することで考えることを放棄してしまう傾向が強くなっている印象があります。

中村　普通に考えれば、家族内の問題。家族の中でちょっとした失敗があり、問題があ

ワンデーポート
コロナ禍の電話相談件数（問題化種目別）



2020年4月1日～12月7日（家族、本人、支援者合計）

なかむら・つとむ
國學院大學文学部文学科卒。10代からギャンブルにはまりはじめ20代で多重債務など様々な問題を引き起こす。29歳のときギャンブルをやめ32歳の2000年、ギャンブルの問題を抱えるワンデーポートを立ち上げる。リカバリーサポート・ネットワーク対面相談会担当も務める。

たかさわ・かずひこ
精神保健福祉士、浦和まはろ相談室代表。明治学院大学社会学部社会福祉学科卒。埼玉県庁に入り、県立精神医療センター等に勤務。2007年浦和まはろ相談室を開設。ワンデーポート家族個別相談担当、リカバリーサポート・ネットワーク対面相談会担当、東京・埼玉・千葉の精神保健福祉センター等公的相談機関の助言者も務める。

気付きのレベルを上げる

マルハン東大和店

「本人の同意書を必要としない家族申告プログラム」を全314店舗に追加導入したマルハン。深刻な依存問題が起きないように、店舗ではどのようなことをしているのか。安心パチンコ・パチスロアドバイザー1期生であるマルハン東大和店（東京都）の伊藤誠規店長に話を聞いた。

伊藤誠規 店長

当社の方針では、各店の店長とマネジャー職が安心パチンコ・パチスロアドバイザー講習を受講しています。当店では私とマネジャー7人が受講。8人体制でお客様を見守っています。

実は当店では、お客様から深刻な相談を受けたことがありません。「今日○○円負けちゃったから、明日はもう来れないよ」といった、冗談めいた愚痴をいただくことはありますが、遊技との付き合い方を面と向かって真剣に相談されたことは1度もないのです。

一見すると良い状態のように思えますが、安心はできません。真剣に悩まれるお客様やそのご家族が本当に当店にいないのであればベストですが、ひょっとしたらまだ顕在化していないだけで、潜在的にはいるかもしれないからです。

リカバリーサポート・ネットワークへの電話相談件数は年間に何千件もあります。ふたを開けてみれば、RSNへの相談者が当店の身近なあのお客様だったということも十分にあり得ます。

今まで当店に相談がなかったのは、単に相談相手として選ばれなかったからではないか。お客様としては匿名性の高いRSNのほうがセンシティブな内容を相談しやすいのでしょう。こう考えると、相談がない現状を手放しでは喜べません。

私たちアドバイザーは依存に関する知識を備えていますが、専門家ではありません。お客様から深刻な相談を受けたとしても、解決して差し上げることはできません。ですが、辛い気持ちを共有して不安を和らげたり、適切なアドバイスを示したりすることはできます。

お客様の遊技が度を越さないように見守り、パチンコ・パチスロ依存の深刻化を予防すること。このアドバイザーの役割を果たすために必要なことは、お客様のふとしたサインや仕草に気付けることです。

例えば清掃は、汚れに気付けて初めてキレイにしようという行動に移ります。同様にアドバイザーも、お客様の変化に気付けなければうまく機能しません。私は今後も当店のお客様とそのご家族を守るために、スタッフとともに気付きのレベルを高めていくつもりです。

安心パチンコ・パチスロアドバイザー

遊技客を見守り異変に気付く

好きなことや楽しいことにのめり込むことは、往々にして起きる自然な行動だ。しかし生活に大きな支障を来たすようでは、度が過ぎている。遊技客の度が越えないように見守り、生涯顧客の数を保つこと。それが安心パチンコ・パチスロアドバイザーの役割だ。

全日遊連が昨夏に実施した依存対策実施状況調査によれば、遊技客から相談されたことがある店舗の割合は9・4％だった。前年と比べると2・7ポイントの増加。「自分は依存しているのか」「やめられない」「やめさせたい」「遊び方」「利用金額」といったことを尋ねた遊技客が多かった。

相談を受けた店舗の割合が高まったからといって、「遊技業界の依存問題が拡大している、深刻化している」と捉えるのは早計だ。高まった主な理由は、おそらく依存問題に関心をもつ遊技客が増えたためだろう。緊急事態宣言下のバッシング報道では、開店待ちや越県する遊技客に「我慢できない大人たち」というレッテルが貼られた。これを機に遊技との付き合い方を考え直した人が多かったに違いない。

遊技客が店舗に相談を持ち掛けやすくなったことも理由の一つだ。安心パチンコ・パチスロアドバイザーが自店にいることを知らせるポスターを掲示する店舗は、この1年間で65・0％から80・8％までに増えた。これを見た遊技客がリカバリーサポート・ネットワークの電話相談ではなく、顔見知りのスタッフに尋ねてみたのだろう。RSNへの電話相談件数は前年よりも少ない件数で推移している。

2017年4月から始まった安心パチンコ・パチスロアドバイザー制度は、06年4月に発足したRSNよりも歴史が浅い。遊技客からの認知度にもかなりの差があり、RSNポスターの認知度は85％（弊誌調査）であるのに対し、アドバイザーの認知度は35％（日遊協調査）に留まっている。今後、アドバイザーのポスター掲出率が高まり、認知度が広がるにつれて相談数も増えていくことに期待したい。

会員申し込みデスクにはRSNのリーフレットを備えている